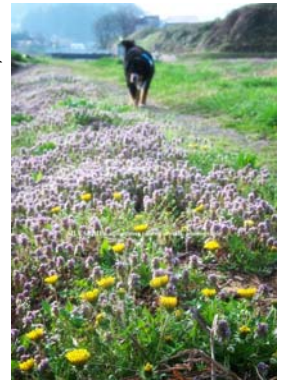


Rotary



例会報告

高山西ロータリークラブ

お祝い
・会員スピーチ春の気配
蜘蛛 康介

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 古橋 直彦
- 幹事 遠藤 隆浩
- 会報委員長 塚本 直人

＜会長の時間＞

春の高山祭りの『宮本』について話します。「何？それ」と思われる方は皆さんの神社で例えれば年行司のようなものとイメージしてお聞き下さい。



古来より日枝神社の祭礼は宮本によって統括され、祭礼の一切の行事は宮本が取り仕切り、その権限は絶対で、その年の宮本が行う祭礼行事には、一切口出しをしないことになっています。1600年（関ヶ原の戦い）頃、金森家 2 代目高山城主「可重（ありしげ）」の時代、今の杵形橋周辺の町民が神明神社の下（もと＝本・ふもとのもと）なので、お宮のもと（本）ということで祭礼の神輿を奉じ、また一之町（今の上一之町）の住民も神楽を奏で一緒に今の正雲寺坂から高山城内に担ぎ入れた処、城主はこれを喜び、これより毎年恒例として神輿の巡航を行うべしとの命があり、これが山王祭りの始まりとされ、この時東川原町に「宮本」の称号が与えられたと言います。つまり、宮本は山王祭りと一致する約 400 年以上の歴史があります。

このような経緯で山王祭りを統括する元締めは東川原町の組頭が、一之町の神楽を奏でる組と力を合わせて行う事となり、後の川原町「青龍台組」が永代宮本を勤める事に結びつきました。「青龍台組」の宮本は金森時代、天領時代、明治と明治 23 年まで実に 290 年近く連続と続けられましたが、時代の変遷に伴い毎年宮本執行の責務やもめ事の処理、費用の負担などが重くのしかかり、ついに「青龍台組」より永代宮本の権限と職務を返納したいと申し出があり同年明治 23 年 10 月 15 日の日枝神社臨時議会で於いて受理され、以後、宮本は各屋台組が順に行う事となりました。資料の注釈には（第一回の帝国議会が開催されたのはこの 1 ヶ月後で当時の日枝神社の見識の高さがうかがい知れる）と記されていました。個人的には、明治 23 年高山の神社に於いて議会在存在したとは到底思えないのですが？なお、この時数百年続いた宮本制度の変革により祭礼が変化しないようとの、想いから「宮本旗」が作成されています。

『須督祭事賚先例』まつりごとをとくするにはすべからくせんれいをつぐべし

祭り事を監督するものは当然すべきこととして先例いままでの例をつぐ、つづけるべしとの意味です。毎年、日枝神社の祭り行列の最後尾にはこの文字が記された旗が加役に護られ祭りを監督するように巡航して行きます。

明治 24 年、新しい制度での初の宮本は屋台の順番の最初で、また永年宮本の次加役を永年勤めてきた「神楽台」が受け持ったが、神楽は常に御巡幸の先頭にたち獅子舞いを舞い道を清めるなど、特別の役割を持っていた為、次年度から宮本は免除されることになり

ました。この形態が大正 9 年まで続けられてきましたが、神社の規定が改正され宮本に於ける屋台組と神輿組の責任分担が明確に規定され現在に至っています。神輿組に関しては金森時代に記述があるものは現在の「有楽組」（加藤病院からまさごそばあたりの組）、「慶祥組」（本町 1 小鳥ガラスからキッチン飛騨あたりの組）のみで、諸般の事情で屋台をつくらなかったこの組が当時ほどの様役割で祭りに関わっていたかの資料はありません。また屋台組から色々な問題や金銭的なことで分かれて神輿組になった組もあります。城坂組（城坂あたりの組で神楽台から分離）橋組（現在の図書館辺りの組で麒麟台組から分離）などがあります。片野組については金森時代から「鬮鶏楽」「代々神楽」をもって祭りに奉仕しており、また森下組は昔江名子で受け持っていた獅子徳兵衛獅子を引き継ぎ、神楽と共に先陣を担っています。

現在屋台組 16 中神楽を除いた 15 組で屋台組の宮本を廻し、神輿組は 9 組で順に勤めています。屋台組の宮本は主にお旅所や移動順道場の準備等を担当。神輿組は主に拝殿や境内の掃除や神輿の準備と役割分担はあるが屋台組、神輿組のその年の宮本が立案する祭礼行事を日枝議会在承認決定し先例に従い祭り行事全てを責任をもって執行されます。

現在は宮本を勤める際に、3 年前から神社での役が始まり、順加役→加役→宮本と順に役が上っていきます。昨年の宮本は陵王台組、国島市長さん辺りの組で元会員の寺田昌平さんが宮本長を勤められました。今年の宮本は本町 1 琴高台組 こちらも元会員の長尾肇さんが宮本長です。翌年宮本を勤める加役は本町 2 応竜台組、またその翌年は準加役の片原町、崑崗台（こんこうたい）に宮本が移り 15 年後にまた廻って来ることとなります。

＜幹事報告＞

◎米山梅吉記念館より

- ・春季例祭のご案内

日時 4 月 23 日(土) 14:00~

場所 米山梅吉記念館ホール



◎高山市都市提携委員会より

- ・平成 28 年度高山市都市提携委員会会議の開催について(ご案内)

日時 4 月 26 日(火) 13:30~

場所 高山市役所 3 階 行政委員会室

- 議題
 - ・平成 27 年度事業報告及び収支決算報告について
 - ・平成 28 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

世界へのプレゼントになろう

例会報告

◎飛騨高山国際協会より

- ・平成 28 年度飛騨高山国際協会通常総会の開催について(ご案内)
- 日時 5月10日(火) 9:00~10:00
- 場所 高山市役所3階行政委員会室
- 議題
 - ・平成 27 年度事業報告及び収支決算報告について
 - ・平成 28 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

<例会変更>

- 高山中央 …4月11日(月)は、地区研修協議会リハーサルのため
飛騨・世界生活文化センター に変更
- 5月23日(月)は、オーダン・マルシェRCとの
交流新緑例会のため
- 25日(水) 18:30~ひだホテルプラザこ 変更

<受贈誌>

(財)米山記念奨学会「館報 Vol.27」

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	32名	1名	33名	42名	78.57%
本日	32名	—	32名	42名	76.19%

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日



下屋 勝比古 齋藤 章 内田 幸洋
4. 13 4. 30 4. 17

◎夫人誕生日

新田 敬義	悦子 さん	4. 12
齋藤 章	厚子 さん	4. 5
蜘蛛 康介	百合香 さん	4. 27
向井 公規	祐子 さん	4. 22
東 庄豪	ひろみ さん	4. 26
榎坂 純一	真弓 さん	4. 20

◎結婚記念日



挟土 貞吉
S42. 4. 7
田中 晶洋
H 6. 4. 16

(当日欠席)
井上 正
H10. 4. 21

◎出席表彰

挟土 貞吉 31年



◎在籍周年記念表彰

なし

◎3ヶ月表彰

・内田 幸洋 ・小森 丈一 ・齋藤 章 ・阪下 六代
・挟土 貞吉 ・古橋 直彦 ・門前庄次郎

会員スピーチ

榎坂 純一



皆様こんにちは。2016年2月より入会させて頂きました「株式会社スカイワールド」の榎坂 純一(えのきざか じゅんいち)です。

本日は、新入会員スピーチということで皆様の貴重なお時間をいただき誠にありがとうございます。本日は、次の3点についてスピーチさせていただきます。まず1つ目が私の簡単な自己紹介を、2点目が現在の仕事内容について、3点目が私の今後の目標についてです。最後までどうぞよろしくお願ひします。

私は1982年12月生まれの33歳です。高校卒業まで高山市で生活し、その後、愛知4年、静岡2年、東京3年の県外生活を経て、2010年4月、父が経営する株式会社スカイワールドに入社しました。東京では3年間システムエンジニアとして仕事をし、様々なシステムづくりに携わることができました。その時の経験を生かして、現在、当社が運営する店舗のPOSレジシステムは私のお手製となっております。これが私のプチ自慢でもあります。

【観光用店舗】

- ①右衛門横町(宮川朝市沿い)
- ②朝市Café(宮川朝市沿い)
- ③春秋や(上三之町内)

【食品工場】

- ①飛騨工房右衛門(本社1階)

例会報告

さて、現状当社の業務の軸は、観光用店舗と食品工場の2つです。観光用店舗では、当初テイクアウト専門の店舗しかありませんでした。しかし、2011年4月に古い造り酒屋を改装し、敷地面積約330坪の総合お土産店「右衛門横町」をオープンさせました。現在このお店が観光用店舗の要となっています。また、食品工場では、飛騨牛を使った肉まん「飛騨牛まん」を中心に、日本各地のブランド食材を使った蒸しまんじゅうの製造を行っています。代表的な銘柄は「松阪牛まん（三重）」や「馬肉まんじゅう（熊本）」などです。今後も中小企業である強みを生かし、小ロットOEMまんじゅうの販路拡大を図っていきたいと思っています。現在高山の観光は、外国人観光客の増加が目立ち、毎年来客数が増加しています。これもすべて数十年前、高山観光の黎明期、いかに高山まで観光ルートを伸ばし、どのようにお客様を誘致するのかということ真剣に考えた多くの方々のおかげと心より感謝しています。次は我々の番です。高山を日本を代表する観光地に育て上げていくことこそが、多くの先人たちの努力を受け継ぐ我々に課せられた使命なのかもしれません。

それでは私の直近5年間の目標を簡単に話します。キーワードは5年5増です。観光用店舗を市内に毎年1店舗のペースで増やします。また食品工場も同様に毎年1本の割合でまんじゅうのOEM製造を受注します。まず直近の5年はこの目標に向かって努力し続けていきたいと思っています。

最後になりましたが、私は、まだまだ経営者としては未熟です。しかしやる気と使命感だけは人一倍あると思っています。今後とも皆様にご指導いただき、皆様のような立派な経営者になりたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。以上、新入会員スピーチとさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●古橋 直彦さん、遠藤 隆浩さん

榎坂さん、今日はスピーチよろしくお願いいたします。期待しています。

●榎坂 純一さん

本日は新入会スピーチをさせていただきます。薄い内容で申し訳ありませんが、精一杯話します。よろしくお願いいたします。また4月8日は娘の入園式でお休みさせていただきます。よろしくお願いいたします。

●伊藤 松寿さん

ガバナー月信4月号に広報部門委員会として拙文が掲載されました。ご一読をお願い致します。

●米山奨学委員長 挾土 貞吉さん

米山奨学基金、今期最後のお願いです。再三のニコニコ恐縮です。エイプリルフールではありません。

●大村 貴之さん

昨日で小学校PTA会長も無事終わりました。杉山さんから引き継いだバトンを、次は挾土さんの息子さんへと渡しました。ロータリーのつながりを感じます。

●田中 正躬さん

我が家恒例の春休み旅行に小学生の孫2人を連れ2泊3日の東京見物をして来ました。天気に恵まれ何処へ行ってもひと・人・人の多さに圧倒され、お土産では孫2人の品選びに店内を右往左往、振り回されることしきり。鍛えているはずの脚もくたくた!!でも孫達いつまで付いてくるやら？

●折茂 謙一さん

四女が医学部卒業して4月より研修医になりました。孫の一人が医学部4年になりました。一応後継者のメドがたちました。

●田近 毅さん

本日4月1日より循環器専門医の息子 田近 徹(3代目)と一緒に診療をいたします。医院新築工事も始まりました。よろしくお願ひ致します。

●田邊 淳さん

新年度のスタートです。当社にも新入社員が入社しましたが、自分も初心を忘れず基本から頑張りたいものです。

●田中 晶洋さん、米澤 久二さん、垣内 秀文さん

今日から新年度に入った事業所も多いのではないのでしょうか？4月は新たな物事が始まったり、梅や桜が咲いたり、高山祭りがあつたりと賑やかな季節です。晴れやかな気分で晴れ晴れニコニコをお願いします。

●元会員 中村 良平さん

ご無沙汰しています。50周年記念誌を大変楽しく拝読しました。ありがとうございます。皆様ご苦労さまでした。退会から3年余りで1/3以上の会員の皆様のお顔がフレッシュになりましたね。西ロータリークラブの益々の発展を願っています。



世界へのプレゼントになろう